

多元文化論系「科目登録ガイダンス」資料（新3年生以上用）

1. 登録全般について

- ・ 「2014年度科目登録の手引き」を熟読し、登録手続きを行ってください。

2. 演習および講義の履修について

- ・ 半期に登録できる専門演習には上限があります。各自きちんと確認した後に登録してください。
- ・ ゼミによっては、学年別にゼミをA・Bに分けて実施する場合があります。シラバスを十分に確認の上、登録の後に担当教員の指示に従ってください。

3. 5つのプログラムについて

- ・ 別紙「プログラム紹介」を参照してください。

4. 卒業研究について

【新3年生へ】

- ・ 秋期に「卒業研究計画書」を提出することになります。扱うテーマを考慮しながら、履修科目を選択し、準備を進めてください。
- ・ 卒業研究指導教員は他論系や文学部各コース所属専任教員に対して希望することも可能です。その場合、該当教員の授業を今の段階から積極的に受講し、あらかじめ人間関係を築いておくとうまいでしょう。ただし、ゼミ・卒研・卒論の指導人数には上限が定められているので、その点も確認が必要です。
- ・ 実験実習料による補助に関しては、5月以降に必ず論系室まで問い合わせてください。

【新4年生以上へ】

- ・ 指導教員の指示に従って、計画的に研究を進めてください。卒業研究選択者は、論系との関わりが少なくなりがちなので、指導教員と定期的に連絡を取り合うほか、積極的に論系室を活用してください。
- ・ 実験実習料による補助に関しては、5月以降に必ず論系室まで問い合わせてください。

5. 実験実習料について

- ・ 半期 2000 円の実験実習料を、学費と同時に自動徴収しています。この費用は、論系室における学習支援（PC 利用、学習図書資料の拡充など）のほか、校外実習補助（例：美術館訪問、観劇など）、卒研選択者へも複写代や参考図書購入、製本の補助として還元されます。

6. 留学予定の方へ

- ・ 多元文化論系では、留学生への支援を積極的に行っております。単位振替などがスムーズにできるよう、留学前に論系運営主任との面談を実施します。留学予定者は、必ず論系室の助手にその旨を伝えて、留学前面談を受けてください。

7. 論系室について

- ・ 論系室には学生用 PC (Windows 3 台、Mac 1 台)、プリンターのほか、辞書やデータベースなども整備されています。科目登録以外にも、多岐にわたる質問を随時受け付けますので、気軽に来室してください。特殊な場合を除いては、アポイントの必要ありません。
- ・ 助手 (梅宮悠・似鳥雄一)、助教 (川浩二) が交代で論系室には在室しており、必要に応じて論系運営主任への相談を組むことも可能です。

<多元文化論系室>

開室時間：12:00～19:00 (月～金) *2014 年度は新体制になりますので、詳細は HP をご確認ください。

場所：33 号館 (高層棟) 9 階 906 号室。

電話：03-5286-2979

HP： http://www.waseda.jp/trns_cult/

メール： sdc.admin2007@gmail.com

Twitter： <https://twitter.com/TagenBunka>